

平成 26 年 9 月 24 日  
独立行政法人 防災科学技術研究所  
国立大学法人神戸大学

## 防災科学技術研究所と 国立大学法人神戸大学が連携協定を締結

独立行政法人防災科学技術研究所と国立大学法人神戸大学は、平成26年9月29日、研究所・大学双方の相互の連携を強化し、地域の安全と安心に資する地域協働型の防災・減災研究拠点形成に参画するため、震動台として世界最大規模である実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）を有する防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターと、地域密着型・貢献型の防災・減災研究拠点を形成する神戸大学で連携協定を締結します。

協定は相互の包括的かつ持続的な連携と協力により、地震や津波などの災害に対する防災・減災研究を推進し、地域協働型の防災・減災連携拠点形成を通して地域の安全と安心に貢献し、地域社会の形成、発展に寄与することを目的としています。具体的には①共同研究、人材交流、学術交流等の研究協力②地域振興③人材育成——などで協力して神戸・兵庫地域の防災・減災に貢献しようとするものです。

1. 内容：別紙資料による。

### ◆調印式◆

- 日時 平成26年9月29日（月）11時～
- 場所 神戸大学本部事務局4階特別会議室
- 締結者 神戸大学長 福田 秀樹  
兵庫耐震工学研究センター長 梶原 浩一

2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会  
兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ  
兵庫県教育記者クラブ，大阪科学・大学記者クラブ

### 【担当】

防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター

TEL：0794-85-8211

E-mail：e-def@bosai.go.jp

神戸大学研究推進部連携推進課

TEL：078-803-5427

E-mail：ksui-sangaku@office.kobe-u.ac.jp

# 防災科学技術研究所と 国立大学法人神戸大学が連携協定を締結

## ◆協定締結の目的◆

独立行政法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」という。）と国立大学法人神戸大学は平成26年9月29日、研究所・大学双方の相互の連携を強化し、地域の安全と安心に資する地域協働型の防災・減災研究拠点形成に参画するため、震動台として世界最大規模である実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）を有する防災科研兵庫耐震工学研究センターと、地域密着型・貢献型の防災・減災研究拠点を形成する神戸大学で連携協定を締結します。

協定は相互の包括的かつ持続的な連携と協力により、地震や津波などの災害に対する防災・減災研究を推進し、地域協働型の防災・減災連携拠点形成を通して地域の安全と安心に貢献し、地域社会の形成、発展に寄与することを目的としています。具体的には①共同研究、人材交流、学术交流等の研究協力②地域振興③人材育成——などで協力して神戸・兵庫地域の防災・減災に貢献しようとするものです。

平成25年7月1日に、防災科研兵庫耐震工学研究センターと神戸大学都市安全研究センターの間では連携協定が締結され、両者の活発な情報・意見交換や共同研究企画の推進が進められてきました。その後、Eーディフェンスの将来の地震に向けた施設整備や、神戸大学に小型振動台実験設備が新たに整備されたことを背景に、工学研究科など神戸大学の他部局と防災科研研究者間との更なる協働が展開されてきたことを鑑み、新たに工学に基軸を置いた地域への研究成果の還元を相乗的に目指すため、神戸大学全体との連携協定の組み直しとなったものです。

◆調印式◆

- 日時 平成26年9月29日（月）11時～
- 場所 神戸大学本部事務局4階特別会議室
- 締結者 神戸大学長 福田 秀樹  
兵庫耐震工学研究センター長 梶原 浩一

◆協定の連携事項◆

- (1) 共同研究、人材交流、学術交流等の研究協力に関すること。
- (2) 地域振興に関すること。
- (3) 人材育成に関すること。
- (4) その他両機関が本協定の目的を達成するために必要と認めて合意した事項。

◆協定の期間◆

締結の日（平成26年9月29日）から3年後の日が属する年度の末日までとする。ただし、本協定の有効期間満了の日から2ヶ月前までに異議の申し出のないときは、さらに3年間更新するものとし、その後も同様とする。